

平成25年度 第2回磐田市立図書館協議会会議録

日 時 平成26年2月5日(水) 午後2時55分から午後4時30分まで

場 所 磐田市立中央図書館2階会議室

出席者 委員：岡本香里、大坪裕子、鈴木正善、仲川美穂子、平野富美子、青島公悦、
高梨俊弘、東功一、原田緑(以上敬称略)

(事務局等)

飯田正人教育長

学校教育課：安藤佐織指導主事

中央図書館：伊藤八重子館長、鮫嶋篤克補佐、長島雄一郎主幹、
松本栄一主幹、木村弘之主任

福田図書館：田中均 館長 竜洋図書館：玉澤義広主査

豊田図書館：中崎恒泰館長 豊岡図書館：早澤一成館長

欠席者 委員：兼子修美(以上敬称略)

内 容 以下のとおり

1 開 会(鮫嶋補佐)

本日は、お忙しい中協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

司会進行を務めさせていただきます鮫嶋です。よろしくお願いします。

委員10人中9人が出席で、過半数を超えていますので、本日の会議は成立しておりますことを報告いたします。なお、兼子委員は学校行事と重なったため欠席との連絡がありましたので報告させていただきます。

それでは、ただ今から平成25年度第2回磐田市立図書館協議会を開会いたします。

「磐田市審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、本日の会議開催についてHPで周知しましたが、傍聴者はありませんので報告させていただきます。

2 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

図書館協議会資料に目を通しますと、東委員がこの磐田市立中央図書館館長としてお勤めされていた時代から、図書館を取り巻く環境や問題も大きく変わってきたなと実感しています。図書館をさらに活用してもらうためのアイデア、電子図書館の導入について、図書館員の資質向上、新しい価値観が求められている図書館をどのようにしていっていいか、協議会委員の皆さんから積極的なご意見をいただきたいと思います。

さらに、本日は新たに図書館評価について話し合う機会も設けられています。こちらは新しい試みですので、皆さんの疑問・質問も多かろうと思います。「議題(1)平成25年度事業中間報告から議題(3)平成26年度市立図書館の評価について」までを、事務局にご説明いただいてから、質疑応答はその後にまとめてしていただくようお願いをしたいと思います。ご協力お願いいたします。

最後に、磐田市立図書館を日頃から利用している一市民として、皆さんの堅実な仕事ぶりや業務への取組みに感謝していることをお伝えして、ご挨拶とさせていただきます。

3 教育長あいさつ

平成 25 年度第 2 回磐田市立図書館協議会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

青島会長をはじめ、委員各位におかれましては図書館の運営はもとより、教育行政全般にわたりご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

教育委員会では、小中一貫教育の試行が始まり、いま話題になっている学力学習統計調査にも取り組んでいます。特に、学力学習統計調査に関する会議に出席しますと、子どもの成長過程において、読書が果たす役割や子ども読書推進をいかに進めるかについて、改めて考えさせられます。

文化財に関しては、明ヶ島古墳群から出土した土製品が市内初の国の有形重要文化財に指定され、教育委員会としても対応に追われております。

図書館に関しては、大きなところとして竜洋図書館天井耐震補強工事、中央図書館空調設備更新工事・防水改修工事などが実施済あるいは今後実施予定であります。すでに実施済みの竜洋図書館の天井耐震補強工事は、利用者の施設利用をできるだけ妨げることのないように、臨時休館中にも規模を縮小してではありますが図書館サービスの提供を行いました。

その他にも、利用者サービス向上の一環として、利用率の高い新刊本を複数冊購入し、予約待ちの状態を緩和することができないかということも話題になっております。これに関しては予算との兼ね合いや、購入後に利用が低下してきた本をどうするか等の問題もありますが、電子図書の有効活用等ができないか検討をしております。

本日の議題は、平成 25 年度事業中間報告、平成 26 年度主要事業について、平成 26 年度市立図書館の評価について、雑誌スポンサー制度、電子図書館導入についてなどです。

委員の皆様には是非、忌憚のないご意見等を賜り、今後も更なるご指導をいただきますようお願いを申し上げ、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

4 議 事

(司会進行)

会議は、磐田市立図書館条例施行規則第 15 条 1 項で、「会長が議長となる。」と規定されておりますので、青島会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

(青島会長)

それでは、ただいまから議事進行をさせていただきます。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

最初に、議題(1)の平成 25 年度事業中間報告について事務局より説明をお願いします。

(長島主幹)

お手元の「平成 25 年度第 2 回磐田市立図書館協議会」の 1 ページ及び「平成 25 年度事業報告」によりご説明します。

開館日数についてですが、磐田市立図書館は月曜日を休館としており、祝日に関しては

福田・竜洋・豊岡図書館が休館となっております。その中で、竜洋図書館は平成 25 年度より祝日と重なった日曜日と、月曜日が祝日の場合に休館としていた火曜日を開館するように変更しました。このため平成 25 年度の竜洋図書館の開館日が 8 日増加しております。

次に、入館者数、利用者数及び貸出点数についてですが、平成 24 年度に比べ中央図書館が大幅な増加傾向にあるのは、昨年 10 月末から 12 月にかけて天井耐震改修工事のため閉館し、提供サービスを縮小した影響で各比較値が低くなったためであると考えられます。一方で、竜洋図書館が著しく減少している点ですが、こちらも同様に今年度 11 月から 12 月中旬にかけて天井耐震改修工事のために閉館し、提供サービスを縮小したためと考えられます。

(青島会長)

ありがとうございました。図書館の活動概要がお分かりいただけたと思いますので、続けて議題(2)に入らせていただきたいと思います。

それでは、議題(2)平成 26 年度市立図書館の運営について事務局より説明をお願いします。

(伊藤館長)

議題(2)平成 26 年度市立図書館の運営についてご説明いたします。市立図書館の基本・運営方針に関しては、平成 22～26 年度の 5 年計画で策定されています。

基本方針は、「市民に役立ち、市民とともに歩む図書館をめざします」

運営方針は、「くらしとまちづくりに役立つ図書館を目指します」

「子どもたちに読書の楽しさを伝えます」

「資料・情報とそれを求める市民を結びます」

「図書館サービスを利用できる機会を広げます」

これをうけて、5 年間の中期目標として以下を掲げております。

図書館サービスの充実、業務の効率化、施設維持管理の 3 点を重点に、利用者の要望に応えるため、5 館によるネットワークを最大限に生かした図書館運営を図ります。また、限られた経費でより多くの資料を収集し、充実を図る中で、市民サービスの向上と市民にとって快適で利用しやすい図書館を目指します。

平成 26 年度は、地震対策や設備の更新等の施設の安全管理、行財政改革の視点からの業務の集約と効率化を図り、資料整備については、限られた予算の中でより分析的な視点を持ち、各図書館での資料収集にあたるように努めていきたいと思っております。

地震対策としては、豊田図書館の天井耐震補強工事が主なもので、分析的な資料収集に関しては、先ほどの教育長からご意見をいただいた新刊圖書の効率的な購入・配置も含め、各図書館の貸出傾向を把握した上での選書に力を入れていきたいと思っております。

また、職員の能力・スキルの向上を図るために、先進地への視察やより専門的な知識を得るための研修への積極的な参加、OJT、自己研鑽を通じて人材育成に努め、市民への各種図書館サービスの向上に繋げていきたいと思っております。

図書館は、安心して利用してもらえる快適な施設・設備であること、そこで業務にあたる職員が熱意をもち、提供される資料が新鮮かつ課題解決にふさわしいものであることを軸に、施設と人と資料の 3 点を効率的に結び付けて市民サービスを提供できるよう運営を行っていきたいと考えております。

平成 26 年度の事業費ベースでの主要事業は、お手元の資料(1)から(6)をご覧ください。新規事業として、地域資料の電子書籍化の推進とデータベース活用講座、視聴覚ホール映写システムの改修工事、防火シャッター避難時停止装置設置工事、豊田図書館の雨漏り修繕工事・天井耐震補強工事を計画しております。

平成 25 年度の主な実施済事業として、中央図書館の飲食コーナーの試行や空調設備更新工事、竜洋図書館の天井耐震補強工事、感電式書籍落下装置(ブックキーパー)の全館設置等を実施しております。

(青島会長)

ありがとうございました。ここまでで、ご意見ご質問があればお願いします。無いようでしたら、次の議題(3)平成 26 年度市立図書館の評価について事務局から説明をお願いします。

(松本主幹)

それでは、議題(3)平成 26 年度市立図書館評価についてご説明いたします。図書館法が平成 20 年 6 月に改正され、第 7 条の 3(運営の状況に関する評価等)及び第 7 条の 4(運営の状況に関する情報の提供)が新たに追加されました。また、図書館の設置及び運営上の望ましい基準において、地方公共団体に対して図書館経営においても経営サイクルの着実な実施と住民に対する情報提供を求めています。

これらを受け、磐田市立図書館でも自己点検・外部評価を実施することになりました。図書館評価は、県内でも実施している館は少なく先進的な試みであると言えます。また、これらを実施するにあたり、ビジョン(理念・長期目標)とミッション(戦略、中期目標)を掲げました。

評価の方法は、自己評価と図書館協議会による外部評価、利用者へのアンケート調査があります。

評価の公開方法は「図書館の概要」および図書館のホームページへの掲示を予定しております。

評価を行う目的は、1.より良いサービスの実現、2.効率的・効果的な運営 3.市民との協働による運営であります。

評価内容は、10 ページ平成 26 年度磐田市立図書館評価書と 8 ページ評価主要指標を用いて行っていくことになります。

評価主要指標の目標値は、社団法人日本図書館協会の図書館評価プロジェクトチームによる「これからの図書館像」で示された目標数値と、同プロジェクトチームの西野一夫代表の見解を参考に検討したものを設定しております。評価項目、目標値、評価の基準、来館者へのアンケート内容は各資料をご覧ください。

評価の実施は、平成 26 年度を予定しております。

(青島会長)

ありがとうございました。図書館協議会委員は、どのように市立図書館評価に関わっていくのかを具体的にご説明願います。

(松本主幹)

図書館協議会は、外部評価の一部として市立図書館を評価していただく予定です。年 2

回（6月と2月）開催される図書館協議会とは別に、評価のための場を設けるのか、書面を通してのやり取りとなるかは現在検討中です。

（青島会長）

ありがとうございました。以上で、議題（1）から（3）まで事務局にご説明いただいたわけですが、ご意見ご質問のあるかたは発言をお願いします。平野委員をお願いします。

（平野委員）

評価の難しさを感じています。例えば、評価書にはレファレンスサービスの充実という項目で、「レファレンス能力や職員の資質向上を図り、レファレンスサービスを充実させる。」とありますが、具体的にどういうことでどのように評価するのか。

（伊藤館長）

レファレンスサービスに関しては自己評価のみですが、資質向上は県立図書館主催のレファレンス研修等への積極的な参加、サービスの向上はマニュアルやパス・ファインダーなどのレファレンスツール作成・充実させることで、どの職員も一定レベルのサービスを提供できるような体制を作っていくことを考えております。

評価は、職員への聞き取り調査やレファレンスツール等の成果物で判断することになります。

（青島会長）

ありがとうございます。仲川委員をお願いします。

（仲川委員）

公共施設利用者目線での意見として、聞いていただきたいことがあります。まず、図書館の休館日についてですが、図書館をはじめ、博物館や美術館の多くが月曜日を休館日に指定されています。こうした施設が、月曜日に一斉に休みを取ることで不便を感じております。利用者の利便性を高めるために考慮していただけないでしょうか。

次に、豊岡図書館が豊岡支所に移転されましたが、以前のようなワンフロアではなく、1階と2階に分かれてしまい、足の不自由な方や高齢者にとっては利用しづらくなったと感じております。

また、その移転に伴い、高校生が多く利用していた駐輪場までがなくなり、図書館が移転したことで周辺住民に影響が多く出ていることも知っていただきたいと思います。

（青島会長）

ご意見ありがとうございました。高梨委員ご意見ありましたらお願いします。

（高梨委員）

評価主要指標の資料費ですが、磐田市と同等の人口を有する図書館の平均値と比べていかに少ないかということが読み取れます。こうした状況は、図書館の蔵書構成にも影響を及ぼすことは容易に推測されます。

資料費以外のところで改善と努力を重ねていったとしても、図書館の軸となるべき資料費がこうした状況では、図書館全体として評価が劣ってきてしまうのではないのでしょうか。図書館評価を行っていく上でも、この資料費の低さが市立図書館の抱える大きな課題と感じました。磐田市立図書館利用に関するアンケートの実施方法についてご説明願います。

(伊藤館長)

アンケートは図書館利用者(来館者)を対象として考えています。実施期間については、アンケート結果を踏まえて評価ができるよう、平成26年度の早い段階を考えております。

(大坪委員)

評価の方法についてです。大学でも同様の評価を以前から行っているのですが、手順としてはまず評価に関する資料を作成、その後他大学職員を招いて、実際に構内の様子やクラブ活動を視察してもらう等のヒアリングの場も設けております。市立図書館評価に関しては、先ほどの説明からすると資料でのみ行い、協議会委員個々で評価するという理解でよろしいのでしょうか。

(伊藤館長)

先ほど担当からご説明させていただきましたが、まずは個々で評価をしていただくことになるかと思えます。しかし、評価していただくにあたり、設問に対する議論の場の必要性ももちろん感じております。どういった形になるかは未定ではありますが、協議会委員の方々には今後、意見を持ち寄っていただくこともあるかと思えます。

(大坪委員)

市立図書館に関する専門知識も必要ですし、お互いの認識の違い等もあるかと思えますので、正しい評価をするためにも設問に対する質疑の場をぜひ設けていただきたいと思います。

(青島会長)

ありがとうございます。東委員、外部評価に関してご意見ありましたらお願いします。

(東委員)

学校でも関係者によるものではありますが、内部評価を行っております。実施する際には、やはり評価に関する説明を求める場を設けておまして、個々の認識のズレや誤解を解消するためのやり取りがあります。先ほど予算的な問題があげられましたが、適切な外部評価をするためにも、是非そういった場を設けていただきたいと思います。

(青島会長)

ありがとうございます。原田委員、評価についてご意見ご質問ありましたらお願いします。

(原田委員)

こうした評価はサイクルが重要だと思います。ただ評価を受けることで終了するのではなく、それを図書館運営にフィードバックするためにも、寄せられた評価を公開・公表する場や方法をどのように計画されているのか教えていただきたいと思います。

(松本主幹):

広く一般の方に見ていただくためにも、図書館のホームページでの公開を考えております。

(青島会長)

ありがとうございます。鈴木委員はいかがでしょうか。

(鈴木委員)

県内でも実施している市はあまりなく、先進的な試みであると言える図書館評価を実施

して、外部からの批判を含めた意見を積極的に受け入れていこうといった前向きな姿勢を高く評価したいと思います。ただ、資料をいただいてから実際に評価をしてみました。現時点では評価が大分低くなってしまいました。評価主要指標の見方・判断の基準をどこにもっていくかといったことを、実際に評価する際には是非ご説明いただきたいと思います。

(青島会長)

平成 26 年度より実施する評価(案)ということで今回議題にあがりましてので、今後、図書館協議会での意見交換をしていくということでよろしく願いいたします。岡本委員、最後になりましたがお願いいたします。

(岡本委員)

学校教育の現場からの意見ですが、子どもたちへの読書推進を図る上で、学校図書館と市立図書館との連携の強化の必要性を感じております。

(伊藤館長)

学校図書館との連携については、ご指摘の通りお互いの現場理解が必要かと思えます。市立図書館としても、まず現場を知るべきとの思いから城山中学の学校図書館の視察を過日実施いたしました。今後、このようなやりとりをする中で、学校図書館とどういった場面で協力し合えるかを探っていきたいと思っております。

先ほど、高梨委員からご指摘いただいた資料費の占める割合が低いという点について補足説明をさせていただきます。2011 年に発生した東日本大震災をうけ、公共施設の安全を確保するための耐震補強工事が急務となりました。今後、施設の安全が確保されたうえで、資料費の要求・確保へと進めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

(青島会長):

ありがとうございます。続いて、議題(4) 雑誌スポンサー制度の状況について 電子書籍導入について その他として先進地(佐賀県武雄市図書館)の視察報告をお願いします。

(松本主幹):

この制度は、磐田市立図書館の雑誌コーナーを活用し、新たな図書資料等を確保し、図書館サービスの充実を図ることを目的としています。具体的には、スポンサーとなる企業に雑誌購入費を負担していただき、提供していただいた雑誌の新刊号カバーに企業名を掲載することで、広告媒体として利用していただけます。

磐田市では、平成 23 年 6 月 1 日から施行しましたが、平成 25 年 12 月末でスポンサーは 26 社、雑誌数は 35 種類・62 冊となり、市立図書館の総雑誌数 363 冊のうち 17.1%を占めるまでになりました。

広告媒体としての PR 効果をさらに高めるため、スポンサーへ感謝状と店舗等に掲示していただけるようなポスターを作成し贈呈いたしました。

(青島会長)

ありがとうございます。電子書籍についてお願いします。

(木村主任)

静岡県の電子図書館についての動向としては、平成 24・25 年度にかけ静岡県図書館協会電子書籍のための資料専門委員会が設置されました。磐田市も同委員会に職員を派遣し、研究及び検討を行ってきました。

今後は、平成 27 年度の県立図書館のシステム更新に伴った電子図書館の導入が検討されており、磐田市立図書館でも同時期にシステム更新を行う予定です。

全国的にみると、公立図書館で電子図書館導入は平成 22 年度から本格的に始まりましたが、その後はわずかな増加傾向というところにとどまっている状況です。電子図書館が浸透しづらい要因としては、商用コンテンツの著作権があげられます。出版業界の動向をみますと、今後公立図書館で電子書籍として導入可能なものは著作権が切れたもの、つまり著作者が死亡して 50 年を経過したものや使用許諾が得られたものが主体になると考えられます。

以上のことから、磐田市立図書館では中央館で所蔵している「赤松文庫」や、袋井市を含めた磐南地域の歴史を知る上で欠かせない郷土誌「磐南文化」、文化財課や歴史文書館と連携して指定文化財や古文書、古子写真などの電子書籍化および公開を検討しております。特に、赤松文庫に関しては国立国会図書館でしか見ることのできない貴重書ですので、電子書籍化が実現し公開されれば大きな魅力となりえます。

次年度は、資料収集と電子化の作業を実際に行っていく計画でありますので、「磐田市電子図書館実施基本計画」を作成するとともに、各関係機関と調整・連携を行い、継続的な事業化を図りたいと考えております。また、将来的には作成した電子書籍を利用したのワークショップや講座の開催、市内の史跡散策などが自由にできるコンテンツなども提供できればと考えております。

(青島会長)

ありがとうございます。高梨委員より武雄市図書館視察の報告をお願いします。

(高梨委員)

昨年 8 月に佐賀県武雄市の図書館を視察してまいりました。こちらの図書館は、書籍販売や DVD・CD レンタルを行っている「TUTAYA」を全国展開しているカルチャ・コンビニエンス・クラブ(以下 CCC)を指定管理者に指名し、今までにない図書館運営をしているということで大変話題になった図書館であります。

この新しい形態の図書館が生まれるきっかけとなったのは、24 時間 365 日開館する図書館を実現させたいとの武雄市長の思いで、これは市民の図書館機能充実に対する要望の中で、最も割合が高かったものでもあったそうです。こうした経緯から、サービスの拡充と改革実現をめざし、経営や運営のノウハウを持っている CCC を指定管理者に指名して、平成 25 年 4 月 1 日から運営が始まりました。

当然のことながら、CCC は公共団体ではなく企業ですので、館内には従来の図書館スペースのほかに、利益を上げることのできる書籍の販売をするスペース、スターバックスコーヒーの outlet、レンタル CD・DVD コーナーが設けられ、それらにかかった改修費は市が負担したそうです。こういった施設を利用する事を目的に訪れる利用者も多いようで、実際に施設の中でもこういった商用スペースを多くとられているように感じました。

指定管理者による運営になってから、365日朝9時～夜9時までの開館時間、自動貸出機の設置、閲覧席の充実なども図られ、その他には職員の待遇も向上したと聞きました。運営形態の新しさやマスコミ報道の影響もあり、図書館利用者状況は来館者数、図書貸出数ともに増加しているそうです。

さらに、従来の図書館としての利用ではなく、いわゆるアミューズメントとしての側面からも利用者を伸ばしているようで、利用登録に関しては市外の図書館利用者が55.2%もあるそうです。

ただ一方で、図書館が本来の持つべき機能に関しては疑問が残るところで、児童サービスに関して言えば、武雄市よりも磐田市立図書館の方が設備・資料・サービス面で勝っている印象を受けました。

(青島会長)

図書館に求められる変革と、図書館が持つべき本質とをしっかりと見極める必要性を感じる報告でした。ありがとうございました。

(鈴木委員)

IT技術の発達による活字離れが取りざたされている昨今ですが、図書館としてさらなる対応をお願いしたい。例えば、公民館への図書資料の貸出などに力を入れていただいて、図書館以外にも本が身近にある環境づくりをしていただきたい。

(長島係長)

図書館から公民館への資料提供は、以前から行っております。市民の読書活動推進を目的に継続する方針でおりますが、今後は公民館を利用頂いている方の読書傾向に応えるためにも、活動形態を見直していくことも考えております。

(青島会長)

ありがとうございました。今回の報告や意見を各自持ち帰っていただいて、今後の図書館運営及び次回の協議会や、図書館評価に生かして頂きたいと思います。

5 閉会(鮫島補佐)

青島会長、議事進行ありがとうございました。

本日の協議会も、皆様方のご協力により日程どおり終了できましたことお礼申し上げます。

以上で、平成25年度第2回磐田市立図書館協議会を閉会させていただきます。

お疲れ様でした。